

一般社団法人 日本原子力学会 標準委員会
第 57 回 基盤応用・廃炉技術専門部会 議事録

1. 日 時：2023年2月9日（木）9:30～11:50

2. 会議方式：Web 会議

3. 出席者：（敬称略）

（出席委員）石川(顕)部会長，山路副部会長，湊幹事，石川(智)，大塚，奥野，北島，黒川，
近藤，坂下，佐田，田中(健)，田中(正)，明神，山本，吉田，渡辺（17名）

（説明者）【廃止措置分科会】岡本主査，田中幹事，工藤委員，西村委員

【放出源の有効高さ評価分科会】渡辺幹事，岡林委員

【放射線遮蔽分科会】坂本主査（延べ7名）

（事務局）大沼，正岡，牧野，平野（4名）

4. 配付資料：（議事録末尾に一覧を掲載）

5. 議事内容

事務局から開始時，委員 17 名中，16 名が出席しており，成立に必要な定足数（12 名以上）を満足している旨が報告された。その後，会議中に 1 名が途中参加し，最終的に 17 名の出席となった。

(1) 前回議事録（案）の確認（ATC57-1）

前回議事録（案）について事前に配付されていた内容で承認された。

(2) 人事（ATC57-2）

事務局から資料に基づき，専門部会の人事について以下の提案があり，審議の結果，専門部会委員の再任が決議された。

【専門部会】

◆決議事項

(1) 委員再任

湊 博一

日立 GE ニュークリア・エナジー

2023.05～2025.04

【分科会】

4 分科会とも変更無し。

石川(顕)部会長の任期が2023年2月末までであることから，部会長の選出を行った。（標準委員会資料SC90-4-03-参考 に基づき，Webexの投票機能にて実施。）投票の結果，石川(顕)委員が部会長に選出された。

(3) 【報告・審議】（ATC57-3-1～ATC57-3-5）

“発電用原子炉施設の廃止措置計画における安全評価基準：20XX” 標準原案に関する公衆審査の結果及び受け付けた意見への対応について

（担当：事務局，廃止措置分科会 岡本主査，田中幹事，工藤委員）

事務局から ATC57-3-1 に基づき，題記に関する公衆審査の結果，2 名の方からご意見があったことが報告された。引き続き，廃止措置分科会 田中幹事，工藤委員から ATC57-3-2～5 に基づき，意見対応について説明があり，審議の結果，意見を踏まえた修正は編集上の修正の範囲

であり、この内容で次回の標準委員会に報告することが決議された。

主な質疑、コメント等は以下のとおり。

Q：糸井氏の意見に関し、起因事象について例示とする説明ではなく、必要に応じて事象を追加することを明記してもよいのではないか。

A：附属書はもともと参考であり、その位置づけで記載している。廃止措置段階において想定される事象は多義にわたり、100%抽出することは難しく、プラントによっても変わる可能性がある。代表事象の抽出方法について規定化できるようになればそのような記載もできるかもしれないが、今回は電中研ハンドブックを転載しており、例示とした表現とした。

Q：落合氏の意見に関し、Ssは新規制基準の基準地震動であるが、再稼働申請をしていない廃止措置プラントは新規制基準の地震動でバックフィットするのか、それとも許可時の地震動（例えば、Asクラスに対する地震動）で確認するのか。

A：安全評価基準ではご質問の事項については明確にしていない。2023年度に耐震安全に関する技術レポート整備を行う予定であり、再稼働していないプラントの取り扱い方法を検討することになっている。

Q：廃止措置において状態と条件が変われば、重要度に関する評価を行うのか。

A：条件が変われば、重要度ランクの確認が必要であると考えている。

(4)【報告・審議】（ATC57-4-1～ATC57-4-4）

“発電用原子炉施設の安全解析における放出源の有効高さを求めるための数値モデル計算実施基準：20XX”標準原案に関する公衆審査の結果及び受け付けた意見への対応について

（担当：事務局，放出源の有効高さ評価分科会 渡辺幹事，岡林委員）

事務局からATC57-4-1に基づき、題記に関する公衆審査の結果、提出された意見は無かったことが報告された。引き続き、放出源の有効高さ評価分科会 渡辺幹事，岡林委員からATC57-4-2～4に基づき、標準委員会への報告予定内容について説明があり、審議の結果、この内容で次回の標準委員会に報告することが決議された。

特に質疑、コメント等は無かった。

(5)【報告・審議】（ATC57-5-1～ATC57-5-3）

“γ線ビルドアップ係数：2013”英文版標準原案に関する当専門部会意見募集の結果、及び誤記チェックの結果について

（担当：事務局，放射線遮蔽分科会 坂本主査）

事務局からATC57-5-1に基づき、題記に関する意見募集の結果、提出された意見は無かったことが報告された。引き続き、放射線遮蔽分科会 坂本主査からATC57-5-2～3に基づき、フォントの統一と、この作業中に見つかった和文版（2013年版）の誤記への対応について説明があり、審議の結果、英文版標準原案と和文版の誤記対応の2件について、この内容で次回の標準委員会に本報告することが決議された。なお、英文版の表の罫線を消した形で標準委員会への資料とする。

主な質疑、コメント等は以下のとおり。

Q：和文版（2013年版）の正誤表と英文版標準原案の2つを同時に標準委員会へ付議して良いか。

A：手続き上の問題はない。（事務局から回答）

(6)【報告・審議】（ATC57-6）

実用発電用原子炉施設の廃止措置における放射線被ばくリスクに応じた耐震クラス設定の考え方（技術レポート）の着手について

（担当：廃止措置分科会 西村委員，工藤委員）

廃止措置分科会 西村委員，工藤委員から資料に基づき、題記の技術レポートの着手について説明があり、審議の結果、本日のコメントを資料に反映のうえ、技術レポートの作成に着手す

ることが決議された。

主な質疑，コメント等は以下のとおり。

Q：新規の技術レポートの着手については，標準委員会へ付議が必要か。

A：技術レポートの着手については，標準委員会への付議は必須ではない。過去の実績としては専門部会承認で着手した事例を確認している。

Q：1.に審議対象として記載されている「その整備方針」とは具体的にはどれのことか。

A：2.から 4.4 までの部分である。「その整備方針」を「2.～4.に示す整備方針」に修正する。

(7)【報告・審議】（ATC57-7）

“原子力施設の廃止措置の基本安全基準：2022”並びに“発電用原子炉施設の廃止措置計画策定基準：2022”への転載許諾の反映について

（担当：廃止措置分科会 田中幹事）

廃止措置分科会 田中幹事から資料に基づき，発行前の転載許諾の反映について説明があり，審議の結果，この転載許諾の追記内容で専門部会として承認し，次回の標準委員会に報告することが決議された。

主な質疑，コメント等は以下のとおり。

Q：IAEA の許諾条件は，記載文の和訳はこちらで実施か。

A：そのとおりの条件である

(8)【報告・審議】（ATC57-8）

標準策定 5 か年計画の更新について

（担当：基盤応用・廃炉技術専門部会 湊幹事）

湊幹事から資料に基づき，標準策定 5 か年計画の 2023 年版 の案について説明があり，審議の結果，この本日のコメントの反映，及び更に修正が必要な場合はそれを反映することを条件として，次回の標準委員会に報告することが決議された。

主な質疑，コメント等は以下のとおり。

C：シミュレーション信頼性分科会の見直し内容について，再確認するので，それを反映してほしい。

C：計画に記載のとおり，3/15 の春の年会で企画セッションを開催するので，奮ってご参加いただきたい。

(9)【報告】（ATC57-9）

倫理教育の実績について

（担当：基盤応用・廃炉技術専門部会 湊幹事）

湊幹事から資料に基づき，倫理教育の実施実績について報告があった。

特に質疑，コメント等は無かった。

(10)【報告】（ATC57-10）

分科会活動状況について

（担当：各分科会代表者等の関係者）

各分科会から資料に基づき，活動状況が説明された。

特に質疑，コメント等は無かった。

6 その他

(1) 標準委員会規則類の制改定について

事務局から，「専門部会等幹事業務，並びに事務局業務マニュアル」の制定，「標準委員会審議細則」の改定が紹介された。

(2) 今後の予定

次回は、2023 年 5 月 11 日（木）9：30 から開催で決定した。

【配付資料】

- ATC57-0 第 57 回基盤応用・廃炉技術専門部会議事次第
- ATC57-1 第 56 回基盤応用・廃炉技術専門部会議事録（案）
- ATC57-2 人事について（案）
- ATC57-3-1 “発電用原子炉施設の廃止措置計画における安全評価基準：20XX” 標準原案に関する公衆審査の結果について
- ATC57-3-2 “発電用原子炉施設の廃止措置計画における安全評価基準：20XX” 公衆審査ご意見対応案について
- ATC57-3-3(1) “発電用原子炉施設の廃止措置計画における安全評価基準：20XX” 公衆審査 糸井達哉様ご意見への回答（案）
- ATC57-3-3(2) “発電用原子炉施設の廃止措置計画における安全評価基準：20XX” 公衆審査のご意見（糸井様）を受けた標準への反映結果（案）
- ATC57-3-4(1) “発電用原子炉施設の廃止措置計画における安全評価基準：20XX” 公衆審査 落合兼寛様ご意見への回答（案）
- ATC57-3-4(2) “発電用原子炉施設の廃止措置計画における安全評価基準：20XX” 公衆審査のご意見（落合様）を受けた標準への反映結果（案）
- ATC57-3-5 “発電用原子炉施設の廃止措置計画における安全評価基準：20XX”（案）完本版
[公衆審査コメント反映版（案）]
- ATC57-4-1 “発電用原子炉施設の安全解析における放出源の有効高さを求めるための数値モデル計算実施基準：20XX” に関する公衆審査の結果について
- ATC57-4-2 “発電用原子炉施設の安全解析における放出源の有効高さを求めるための数値モデル計算実施基準：20XX” 標準原案に関する公衆審査の結果及び意見への対応について
- ATC57-4-3 “発電用原子炉施設の安全解析における放出源の有効高さを求めるための数値モデル計算実施基準：20XX”（標準原案完本）
- ATC57-4-4 発電用原子炉施設の安全解析における放出源の有効高さを求めるための数値モデル計算実施基準 公衆審査における意見対応 修正前後比較表
- ATC57-5-1 “γ線ビルドアップ係数：2013” 英文版の標準原案に関する当専門部会意見募集の結果について
- ATC57-5-2 AESJ-SC-A005E:2010“AESJ Standards γ-Ray Buildup Factors:2010”英文版
- ATC57-5-3 誤記チェックの結果について（AESJ-SC-A005:2013）
- ATC57-6 実用発電用原子炉施設の廃止措置における放射線被ばくリスクに応じた耐震クラス設定の考え方（技術レポート）（着手承認の提案書）
- ATC57-7-1-1 “原子力施設の廃止措置の基本安全基準 20XX” の転載許諾条件について
- ATC57-7-1-2 “原子力施設の廃止措置基本安全基準：20XX” 転載許諾一覧表
- ATC57-7-1-3 “原子力施設の廃止措置の基本安全基準：20XX”（案）転載許諾条件対応版
- ATC57-7-2 “発電用原子炉施設等の廃止措置計画策定基準：20XX” の転載許諾条件について
- ATC57-8 基盤応用・廃炉技術専門部会 標準策定 5 か年計画（2023 年度版）（案）
- ATC57-9 倫理教育の実施状況について
- ATC57-10 分科会の活動状況について

参考資料

- ATC57-参考 1 基盤応用・廃炉技術専門部会委員名簿
ATC57-参考 2 基盤応用・廃炉技術専門部会出席実績

以上